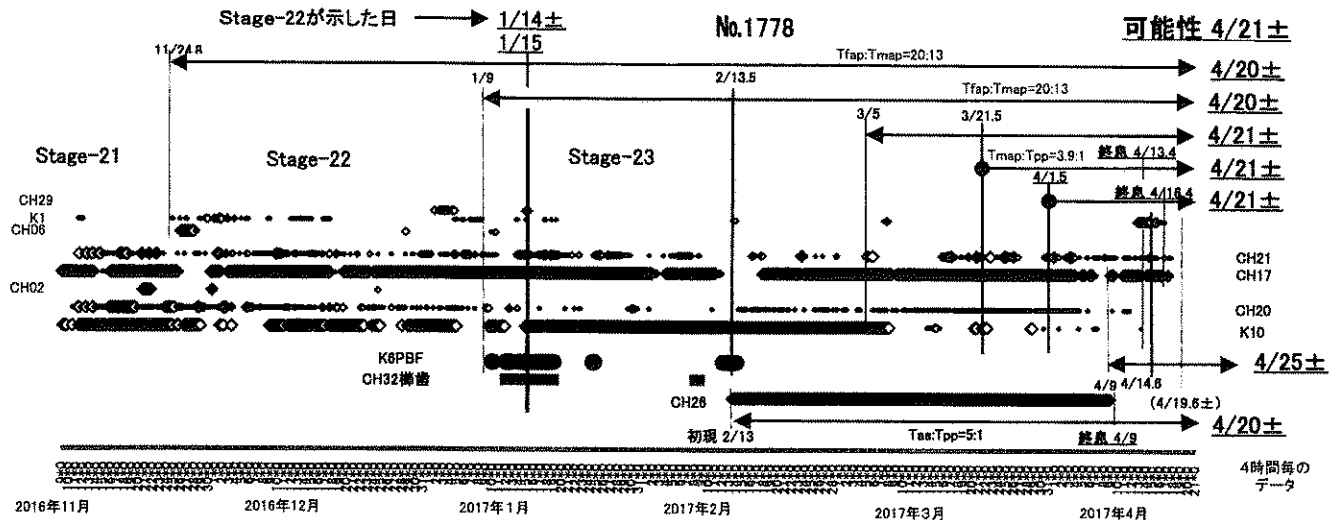


原稿校了後の前兆変化について

ハヶ岳南麓天文台 Yatsugatake South Base Observatory 山梨県北杜市大泉町谷戸8697-1 研究室 FAX 0551-38-4254
Astronomical Observatory: SINCE 1985 Earthquake Forecast Observation & Research: SINCE 1995

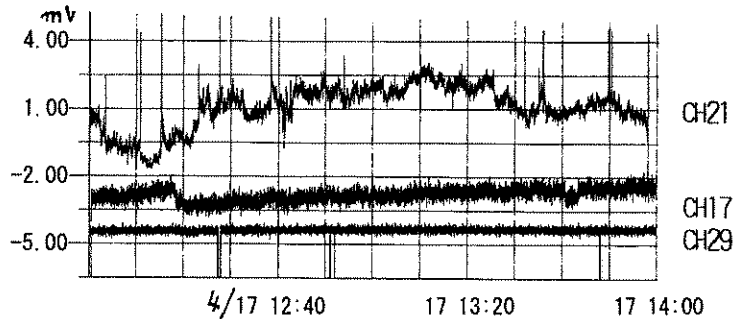
No.1778 長期継続前兆 前兆=CH21のみ 4/21or22 又は 4/26± の可能性で推移



前情報では、No.1778前兆群は全前兆が完全終息した時間が約5時間で、前兆が再出現したため、未だ前兆期間中である可能性を報告し4/20±の可能性も考えられることを報告致しました。

前兆出現状況は上図のとおりですが、昨年末以降に断続的に前兆が出現したハヶ岳のCH29に4/12から断続的に特異状態が出現しています。

本日4/17午後現在のNo.1778関連前兆としては、右波形のとおり、ハヶ岳のCH21の基線不安定な特異前兆のみとなっています。



上図に記入したとおりの前兆関係が仮に正しい場合は、4/21±の可能性が考え易い状況ですが、4/14にCH21 (CH29)にピークが見えます。また本日14時半過ぎよりCH21の特異がやや顕著になっています。以前の前兆関係認識が正しく4/13±に対し4/14にピークが出現した可能性もあり、本日のCH21も含め、CH21の今後の変化によって発生時期推定が変わる可能性もあり得ます。

但し、最大30以上の観測装置に出現した前兆が、現在CH21のみとなっている現状、対応活動は近い可能性が示唆されます。現在考え易い4/21± (4/21or22)の可能性と4/26±2の可能性が示唆される現状です。4/27段階で前兆継続の場合は、以前記した5/13±の可能性となりますので、今後を観測し検討し、続報させて戴きます。CH21は前日迄前兆が消えない可能性有。

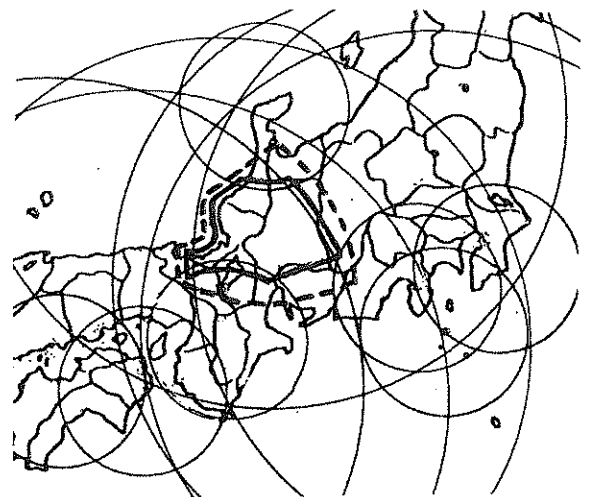
◆推定領域: 右図 点線領域内=大枠 太線領域内=可能性考え易い領域 (前兆の影響局誤認の場合は PHP新書にも記したとおり福島中心領域となりますが、右図領域の可能性の方が考え易い認識です) (*ある程度、火山に近い領域の可能性有)

◆推定規模: M7.8 ± 0.5

◆推定時期: 4月21日or22日 (又は4月26日±2) ※4月27日時点で前兆継続の場合は再考予定

◇推定地震種: 震源の深さ30km以下の浅い日本列島の地殻陸域地震

◇推定発生時刻: 午前9時±1時間 (又は午後6時±3時間)



Copyright 2017 YSBO ハヶ岳南麓天文台